

あやめカット仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m²</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪酸系シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> (<u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u>) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> (<u>...数字</u>) 特注色 <u>JP(W)-100</u> (<u>...英字、...数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約7 m ²

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・あやめローラー (ジョリパットローラー JR - 30 : 7インチ)
- ・隅用ローラー (ジョリパットローラー JR - 25)
- ・ヘッドカットローラー (平面用：ジョリパットローラー JR - 26)
(隅用：ジョリパットローラー JR - 27)
- ・灯油

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<あやめカット仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18%
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2.主材 下塗り

・JP(W)-100シリーズを無希釈で0.9kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3.主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W)-100シリーズ</u>	20kg
塗 布 量	約2.0kg/m ²	
施工道具	金ゴテ	
	材料を均一に配り塗りして下さい。	

追いかけて(5分以内)

4.パターン付け

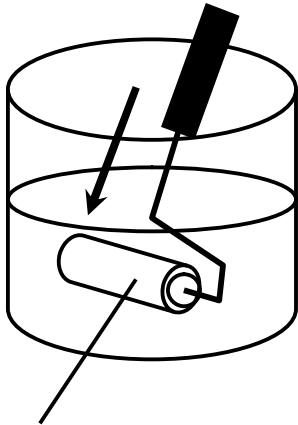
・あやめローラー(JR-30)にJP(W)-100シリーズ充分を含ませてください。(図-1)次に、あやめローラーを横方向に転がし、JP(W)-100シリーズのムラ切りをしてください。(図-2)JP(W)-100シリーズが均一に配られていることを確認してからあやめローラーを上から下にまっすぐ、ローラー少し引きずるような感覚でパターン付けしてください。(図-3)

追いかけて(5分以内)

5. ヘッドカット(押さえ)

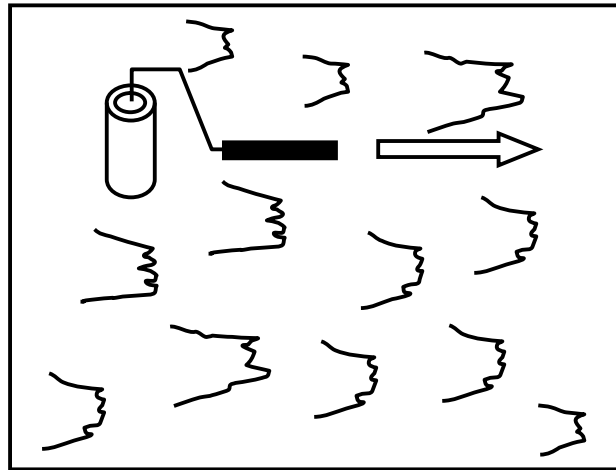
・ヘッドカットローラーJR-26(平面用)やJR-27(入隅用)を灯油に充分浸してから、模様を表面をヘッドカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

<施工のポイント>



JR-30
(あやめローラー)

図-1

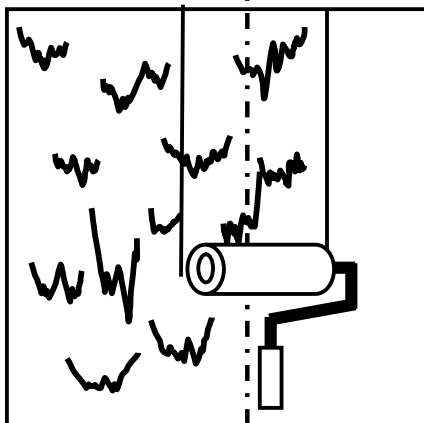


ムラ切り

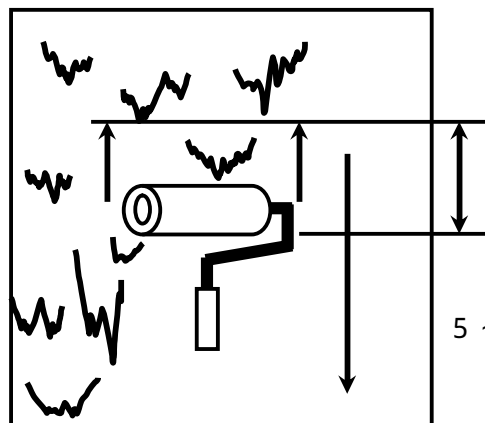
図-2

横の塗り継ぎ

5 ~ 1.0 cm



縦の塗り継ぎ



5 ~ 1.0 cm

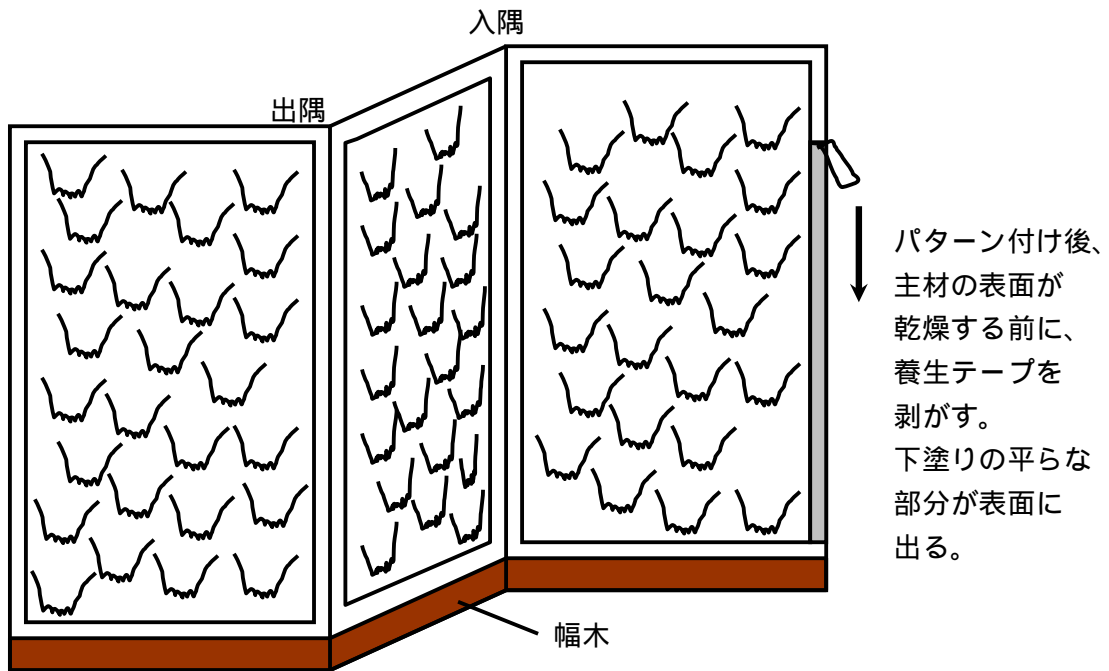
・5 ~ 1.0 cm 程度交差するようにローラーを上から下へ転がしてパターン付けを行って下さい。

・ローラーを5 ~ 1.0 cm 上に戻してから下方方向に転がしてパターン付けを行って下さい。

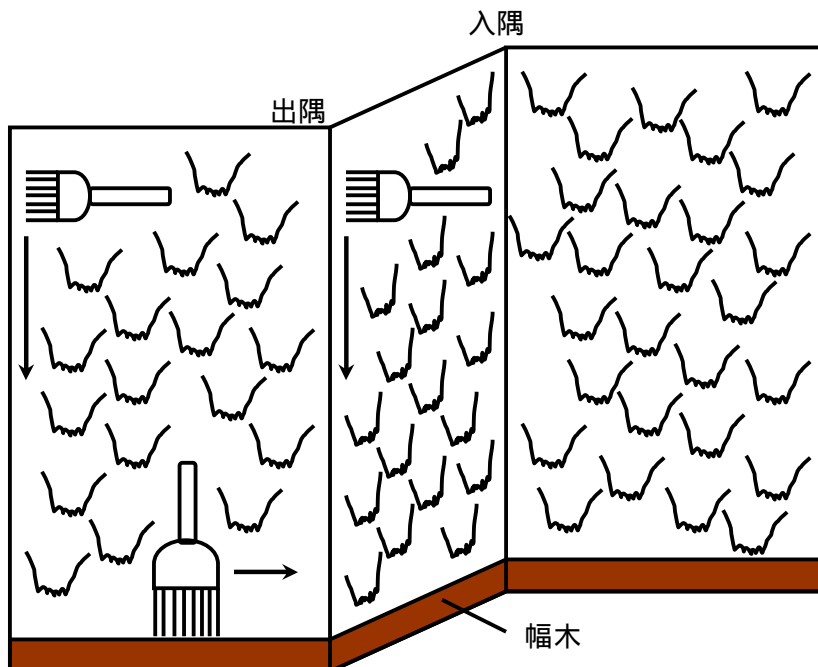
図-3

あやめローラーJR-30が入らず、パターン付けが困難な入り隅などは、隅用ローラーJR-25をご使用下さい。

- ・入隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるか主材が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえるとキレイに納まります。（図 4）

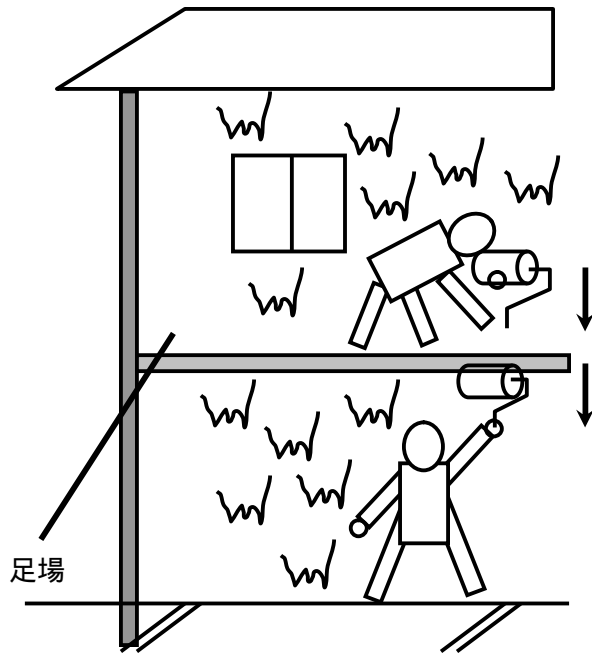


化粧目地をとる工法



刷毛で押さえる工法

図 4



足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。JP(W)-100の表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図 - 5

< 施工の注意事項 >

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にしてください。
(パターンを均一にする為)
- ・ 塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
(一般的に塗布量が少ないと小柄な模様になり、塗布量が多いと大柄な模様になる為、塗布量に注意する。)
- ・ あやめローラーJR-30(パターンローラー)にも主材を充分含ませるようにしてください(あやめローラーに主材を含ませずにパターン付けると模様が小柄になり、きれいな模様ができません。)
- ・ あやめローラーは、軽く引きずるような感覚で動かし、パターン付けしてください。力を抜いてローラーが転がるようにパターン付けしても模様は出ません。
- ・ ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がしてください。
(強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。)

- ・縦方向の塗り継ぎは、一部分に集中させず、ちどり状になるよう(図-6)にしてください。
(足場部分では、塗り継ぎが集中しやすい為、ちどり状になるよう注意。)

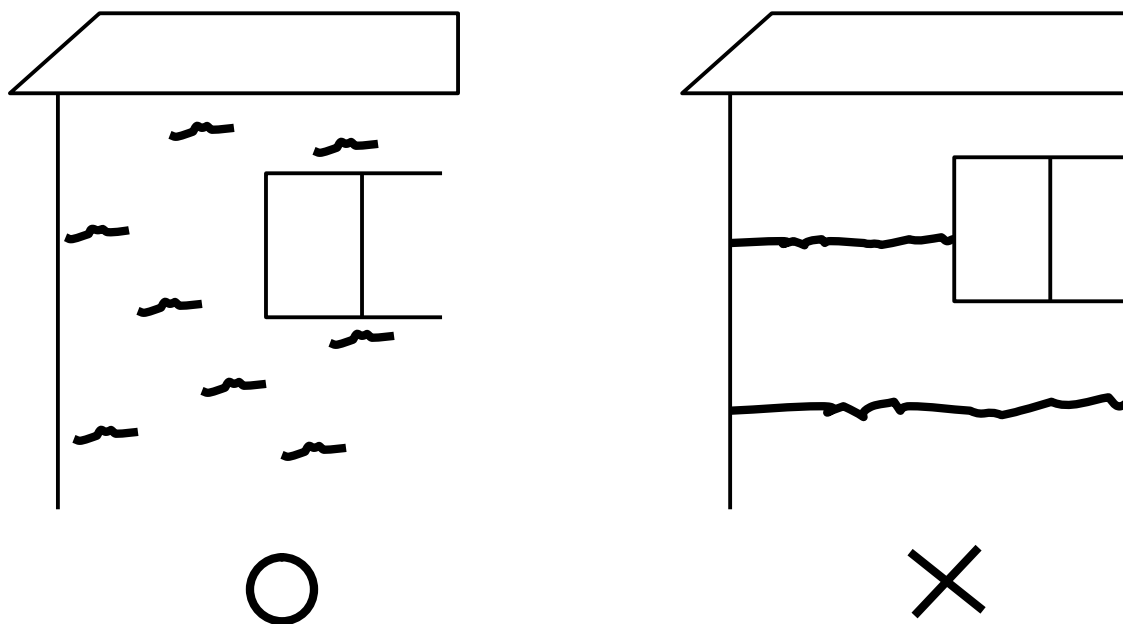


図 - 6

- ・大面積を施工する場合、主材の表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫してください。(図-7)

(例)

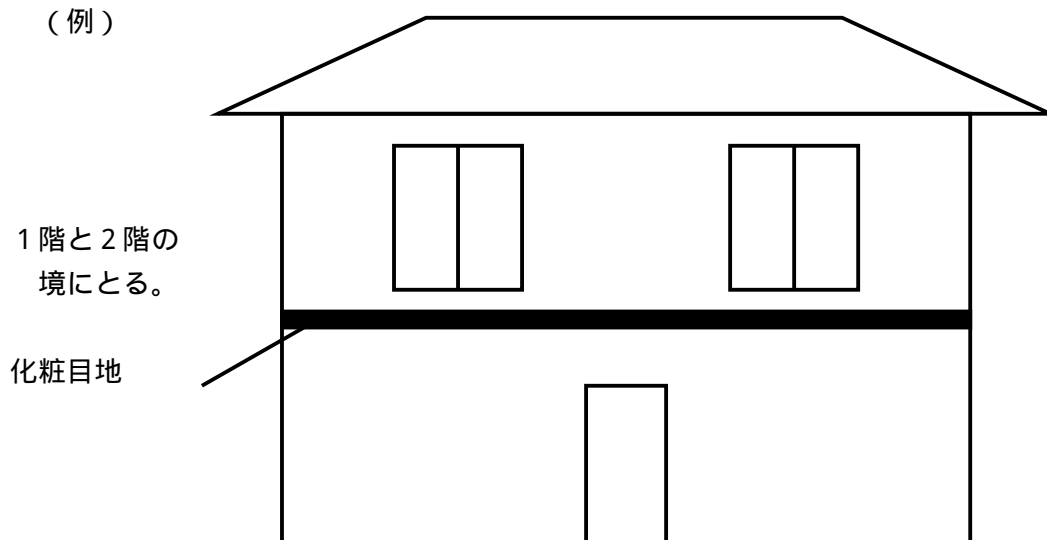


図 - 7

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)

JP(W)100-81-01
(JP(W)-100 あやめカット)

- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノゾリス JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用ください。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮ください。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上